

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：（3）維持管理の最適化【2】民間技術の積極的な活用】

新技術の活用

工事名：橋梁補修工事（地域自主戦略交付金）

概要：今泉大橋の橋梁補修において、新技術を活用して、橋梁の橋脚や橋桁を残したまま道路化することにより、ライフサイクルコストを大幅に縮減した。

効果

- 橋脚や橋桁を残したまま、気泡混合軽量盛土工法（FCB工法）で、道路化することにより塩害対策等のメンテナンスを削減することができた。
- 今後の供用期間中に必要な塩害対策等のメンテナンス費用が約293百万円必要なところ、道路化することにより約266百万円に縮減することができた。（縮減額27百万円、縮減率約10%）



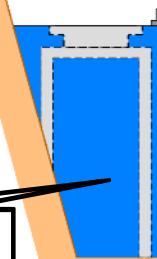
メンテナンス費用 293百万円



橋梁を残したまま
道路化



FCB工法
(気泡混合軽量盛土工)



FCB工法 266百万円
+メンテナンス費用 0円